

社会連携研究センター の活動

平成21年度の三重大学社会連携研究センターの活動報告書をお届けします。

平成16年の法人化以降、大学を取り巻く状況は大きく変わってきており、大学の教職員には、従来の教育と研究の推進に加えて、かつてないほどの積極的な「社会貢献」が求められています。その社会貢献の一つに産学官民連携活動があり、教職員が自治体や企業、さらに民間団体等と一緒に研究活動を進め、大学の教育と研究の進展だけでなく、我が国および地域社会の産業、文化、福祉の向上に役立てようとするものです。また、教職員の研究活動については、その透明性を高め健全な発展を図るため、研究成果は可能な限り社会に公表し、国民の理解を得る必要があります。

社会連携研究センターは、こうした教職員による産学官連携活動を積極的に推進し、得られた研究成果（＝知的財産）の創出や活用を図ることを目的としており、次のような活動を行っています。

1. 知的財産の創出、管理と活用
2. 知的財産の民間事業者への技術移転の推進
3. 新産業創出のための独創的な研究開発の推進

4. 高度な専門的職業能力を持つ創造性豊かな人材の育成

5. ベンチャー企業の創出、育成と支援

こうした状況の下、三重大学の産学官連携活動はめざましく、平成21年度の産業界との共同研究件数は全国の国公立大学の中で215件（15位）、研究費額では395,562（千円）（第13位）となり、地方国立大学としては最上位に位置づけられる高い実績をあげております。

本研究報告書には、三重大学の教職員による平成21年度の共同研究・受託研究の成果報告、産学官連携アドバイザー・コーディネーター等からの活動報告、当センターの活動報告とともに、社会連携研究センターの概要と利用法等を掲載しています。

読者の皆様におかれましては、当センターをこれまで以上に積極的に活用し、皆様の教育と研究、社会貢献がより一層進展することを願っております。

三重大学社会連携研究センター長
三重大学理事・副学長(研究担当)

鈴木宏治

Koji Suzuki

